

第29回駐日外交団の地方視察ツアー(新潟県燕市・三条市)

平成 30年5月
地方連携推進室

平成30年5月15日から16日まで、外務省と新潟県燕市・三条市との共催で駐日外交団を対象とした地方視察ツアーを実施し、駐日各国外交団13か国1機関から計19名が参加しました。

今回のツアーは、東京にある各国大使館で勤務している駐日外交団に、燕市及び三条市の「ものづくり」の歴史と伝統等への理解を深めてもらおうと開催され、各視察先では、参加者に対して各施設の取組等が紹介されました。

1日目、三条市に到着した外交団は、農林水産省により「日本の棚田百選」に選ばれた北五百川の棚田にて、田植えに挑戦しました。長靴を履いた外交団は、最初は棚田で体のバランスを保つのに苦労している様子でしたが、次第に慣れてきて、棚田オーナーの説明を受けながら、大変興奮した様子で初めての田植えに取り組んでいました。

午後には伝統技術とものづくり精神を次世代に継承し、新たに発展させるための研修施設として開設された三条鍛冶道場にて、ペーパーナイフづくりを体験しました。熱した和釘を打ち叩き、形を整える作業に外交団は真剣に取り組んでいました。その後、諏訪田製作所と三条製作所にて、それぞれつめ切りと和剃刀を、熟練の職人が一点一点丁寧に仕上げする“匠の技”で製作するところを見学しました。

夜には、燕市長・三条市長・燕三条地場産業振興センター主催の歓迎夕食レセプションが開催され、分水太鼓(末尾注参照)の迫力のパフォーマンスや、県産の食材を使った料理を楽しみながら、駐日外交団と地元関係者は意見交換や親睦を深めました。

2日目午前は、燕市の玉川堂を視察し、1枚の銅板から茶器や酒器、花器など幅広い銅器を製作する技術について学びました。その後、燕市磨き屋一番館にて高度熟練技能者の指導のもと、ステンレス製カップの磨き体験に挑戦し、それぞれ自分が磨き上げたカップを手にして、皆満足そうな様子でした。

午後は、山崎金属工業で、ノーベル賞創設 90 周年の授賞晩餐会で使用されたカトラリーにまつわる秘話を聞いた後、実際にカトラリーを製作している工場内を見学しました。「THE ART OF DINING」をコンセプトに職人が丹精込めて仕上げる製品の素晴らしさに外交団は感銘を受けていました。



北五百川の棚田にて田植え体験



三条鍛冶道場にてペーパーナイフづくり体験



諏訪田製作所の見学



燕市長・三条市長・
燕三条地場産業振興センター
主催の歓迎夕食レセプション

最後に、燕三条地場産業振興センターで、外交団は買い物を楽しみました。2日間、職人の伝統の技を肌で感じているだけに包丁や鋸起銅器の金属洋食器等の金属製品が人気でした。

今回のツアーの共催自治体からは「燕市・三条市が誇るものづくり文化や伝統などの魅力を知っていただく貴重な機会となった。このツアーを契機に燕市・三条市の魅力を更に知っていただけるよう、今後ともPRに努めていきたい」といった声が聞かれました。

また、参加した外交団からは「日本の職人技と伝統を学ぶ素晴らしい機会だった」との声が聞かれました。



燕市磨き屋一番館にてカップの磨き体験



山崎金属工業にてカトラリーの見学

【プログラム・訪問先】

5月15日(火)

○北五百川の棚田(田植え体験)

○嵐溪荘

○三条鍛冶道場

○諏訪田製作所

○三条製作所

○燕市長、三条市長及び燕三条地場産業振興センター主催
歓迎夕食会

5月16日(水)

○玉川堂

○燕市磨き屋一番館

○明治屋

○山崎金属工業

○燕三条地場産業振興センター

(注)燕市分水地区にて平成元年に立ち上げた創作太鼓のこと。